

# 「輝いてきます」

## 出場選手 活躍誓う

### 全国高校総体壮行式

8月1日に東京都で開幕する全国高校総体体育大会に出場する県選手団結団壮行式が16日、和歌山市のホテルで開かれた。選手は「ひとときを輝いてきます」と活躍を誓った。

8月1日に東京都調布市の味の素スタジアムで開会式があり、東京、千葉、神奈川、山梨の各都県を会場に開かれる。県選手団は選手504人を含む監督や引率者ら653人で、水泳の出場選手は22日

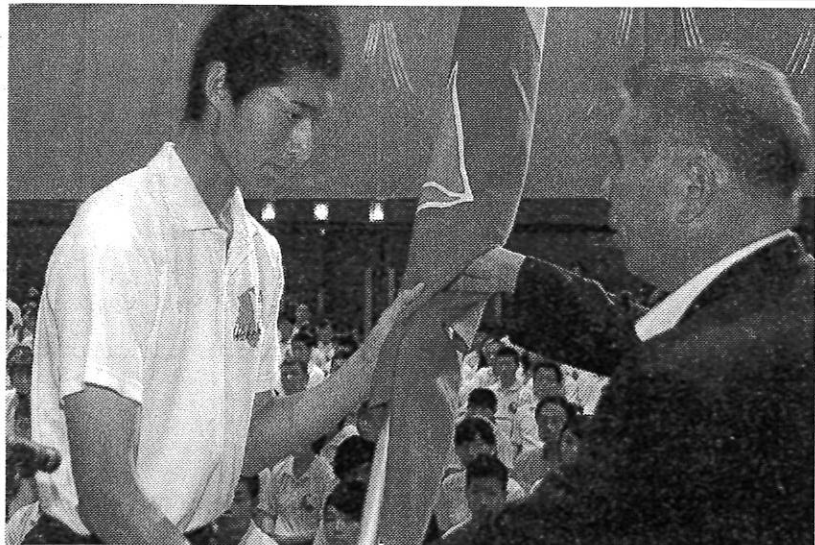
の近畿大会で決定する。

県高校体育連盟は優勝や上位入賞が期待できる紀南の団体や選手として、少林寺拳法で神島女子、体操男子つり輪で田辺工業の楠川雄太選手(3年)、陸上競技女子4000円で田辺の堅田悠希選手(同)、カヌー男子カヤックペアで田辺工業の今村啓志選手(同)と秦秀明選手(同)を挙げている。

壮行式は県高体連と県教育委員会が開いた。開智・バレ

ーボール部主将の米澤寛武選手(同)が県高体連の上野幸浩会長から団旗を受け取り、選手団代表として初芝橋本なぎなた部主将の福井遙菜選手(同)が来年の近畿総体、わかやま国体へとつながるよう、日頃の練習の成果を十分に發揮して、南関東の地でひとときを輝けるように頑張ってください」と力強く宣言した。

上野会長は「県民の期待を背負って堂々と戦ってきてほしい」、仁坂吉伸知事は「自



全国高校総体の県選手団結団壮行式で、県高体連の上野幸浩会長(右)から団旗を受け取る開智バレーボール部主将の米澤寛武選手＝16日、和歌山市で

身を分析し、工夫をすれば、一頑張っただけで」と激励した。120%の力で活躍できる。